

待ちに待ったビックツリーページェント



キラリふくしま介護賞 受賞

特別養護老人ホーム 光の森の丘

11月10日 第4回キラリふくしま介護賞の表彰式が行われ、特別養護老人ホームの高橋理沙さんが受賞されました。キラリふくしま介護賞は、勤続年数が5年から10年未満の介護職員を対象に、他の職員や介護の仕事を目指す学生等の目標や憧れとなるような働き方をしている介護職員を表彰するものです。早速、高橋さんへインタビューしました。

「高橋さんにとっての今年の漢字は？」の問い合わせ、「たくさん笑顔で過ごすことができた一年だったので“笑”です」と笑顔で答えて下さいました。

因みに11月11日は「いい日、いい日、毎日あったか介護ありがとう」を念頭に介護について理解を深め、介護従事者、利用者、家族を支援するために設定された「介護の日」でした。



行事予定

★施設により内容が異なります。

3月

ひな祭り
祈りの日(3.11)



4月

お花見



5月

青空カフェ
母の日



編集後記

新しい年を迎える。今年もよろしくお願い致します。今まで施設での話題を中心に提供してきました。施設行事については新型コロナが第5類に分類された後も感染症の拡大を配慮しながらの実施となっている為、以前のような形態での行事の実施は難しくなっています。その中でも、職員一同、利用者様に喜んでいただけよう試行錯誤しながら季節感のある行事を実施したいと考えていますのでご理解とご協力をお願い致します。

編集委員紹介

- ・小椋 勝紀(特養)
- ・渡辺 郁美(ケアハウス)
- ・黒河内美紀(DS光の森)
- ・吉田 智美(老健)
- ・浦山未紀子(老健)
- ・小湊まゆみ(特養)
- ・桑原 夏枝(ケアハウス)
- ・貝原 直美(DS光の森)
- ・池内 麻紀(老健)

ケアハウス 光の森の家

12月12日と13日に郡山駅前のイルミネーション見学ツアーを行いました。まちに光を、人々に笑顔を！光と音楽の幻想世界をテーマに、今回で18回目の郡山駅前「楽都郡山」ビックツリーページェントは、明るく暖かな光で皆さんを包み込んでくれます。参加する皆さんからは「毎年楽しみにしているのよ、外に出る機会がないので嬉しくて!!嬉しくて!!」との声が聞かれ、ドキドキワクワクしながら見学に向かわれました。見学後の車内では「いやいや凄かったない」と目をイルミネーションのように輝かせてお話をされていました。来年もまた、夢の世界に行けますように。

光の森情報季刊紙

2024.新春号 Vol.98



森

CARE VILLAGE

ケアビレッジ光の森

■〒963-0665 郡山市横川町字遠後 50-1 TEL024-956-8100

発行：ケアビレッジ光の森編集室

福老便り

フクロウは智慧の神様
そして 森の守り神…
光の森にフクロウあり

～新年のご挨拶～ 2024年

新年おめでとうございます。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年のお正月は、お正月気分など吹き飛んでしまう衝撃的な災害と事故での幕開けとなりました。地震の犠牲者と救援に向かう途上の事故での海保の犠牲者に哀悼の意を表しますと共に、今も尚大変な状況にある能登半島地震の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。13年前の東日本大震災の時のことを思い出します。被災地に心を寄せ、微力ながら支援の行動をとっていきたい所存です。

今年は龍年です。

龍は自然と人間を繋ぐ象徴のような生き物です。思い通りにはいかない自然の猛威の中で人は生かされていることを思い知ります。とても悲惨なことがある一方、自然を尊び大切にしていく途上にはたくさんの恵みも与えられてきました。今、世界中で起きている環境破壊（戦争、森林伐採、海の埋め立てなど）を龍は嘆いているはずです。多様な命を尊び大事にしながら自然への畏敬の念を持ち続け、謙虚に自然から学ぶ姿勢を忘れないことで、再び自然と人との調和がとり戻せるチャンスは巡ってくるのかもしれません。

龍は天と地を繋ぐ使者とも考えられます。

目に見えないもの（光や風、大気、音、音楽、想像力、愛と憎しみ、希望と絶望、善と惡など）が様変わりしていく姿は、龍の動きと似ています。その中で人が行くべき正しき道を見失わぬよう明日へと繋がるようにと龍が導いてくれることを祈ります。

あらゆるところで分断の壁ができ、生きることがとても困難な時代にこそ、龍は姿を見せるのかもしれません。眼光鋭き正義の眼でこの世の中を守ってくれることを願います。

混沌として真実が見えにくくなっている今、自らの目で見極め自らを守り、お互いの気持ちを思いやり助け合い、みんなで力を合わせて乗り越えてゆく時です。

ケアビレッジ光の森は誠実で丁寧な仕事をしてまいります。

日本人全体が免疫低下して今や感染症大国となっている日本ですが、このことで免疫力アップに必要なことに注目が集まってきた。皆様におかれましては、免疫力を高める行動をされながら、今年も一年どうかお元気でお過ごし下さいませ。

社会福祉法人 共生福祉会 理事長
介護老人保健施設 光の森 施設長
馬場 順子

永年勤続表彰 おめでとうございます

令和6年1月24日 永年勤続者の表彰式が行われました。入職以来、永きにわたり職務に精励され介護福祉への貢献とケアビレッジ光の森の発展に寄与されたことに感謝し、表彰状が授与されました。

永年の功績に心より感謝し、お祝い申し上げます。

【20年勤続】 介護老人保健施設 光の森 介護 中山 充
【10年勤続】 介護老人保健施設 光の森 リハビリ 松川 博賢

特別養護老人ホーム 光の森の丘 介護 先崎 裕太

相談員 大堀 絵美

看護 熊田恵利子

用務 古宮 沙織

機能訓練 網代 知子

介護 川崎 守

渡辺 紫郎

横田ふく子

武田 航治

ホームページは



こちらから

クリスマス会特集

光の森 通所リハビリテーション

12月22日・23日にクリスマス会を開催しました。利用者の皆さんと一緒に赤鼻のトナカイときよしこの夜を歌い、今回はトーンチャイムの演奏を行い「いい音だね」「音の響きがすごいね」との声が聞かれました。次にスタッフによる歌謡祭を行い、リズム感のあるダンス・懐かしい歌・童謡など数曲披露しました。利用者の皆さんも口ずさんだり歌に合わせてタンバリンを叩いたりと盛り上げていただきました。笑顔の方も多く見られ、皆さん楽しめている様子が感じられました。



新年の集い

介護老人保健施設 光の森

1月1日からの3日間を利用者の皆さんと新年のお祝いをしてお正月の雰囲気を味わっていただきました。今年は職員手作りの獅子舞を披露し怖くて泣いてしまう利用者様もいらっしゃいましたが、獅子舞に頭をかまれ楽しめている利用者様が多くみられ賑わいを見せました。新しくなった光の森神社ではおみくじをひいて大吉で喜ばれたり、凶でも「これ以上悪くなることはないという事だね」とポジティブな利用者様もおられました。楽しい1年の始まりとなりました。



デイサービスセンター 光の森

12月19日から一週間クリスマス会を開催しました。今回のクリスマス会は職員による「大きなカブ」というお芝居を皆様に観ていただきました。何名かの利用者様にも猫・ネズミ・犬に扮してご参加いただき、職員と一緒に「うんとこしょ～、どっこいっしょ」の掛け声で大きなカブを抜いていきました。やっとのことで抜いた瞬間は利用者の皆さん全員で喜び、「やったー！」と大きな拍手が沸き起きました。

寒さが身に染まる時期ですが、施設内は笑いが絶えずとても暖かい時間を過ごすことが出来ました。



特別養護老人ホーム 光の森の丘

12月25日（月）にクリスマス会が開催されました。お昼ご飯にはクリスマスの特別メニューとして「お刺身」が提供され、皆様大喜びされておりました。午後からのクリスマス会は、まず職員によるダンスのお披露目があり、利用者の皆さんも一緒に盛り上がっておられました。その後は桜井施設長がサンタクロースに扮し利用者様



にプレゼントを手渡しました。利用者の皆さんに喜んでいただけるよう担当職員が考えながら選んだプレゼントです。これから的生活で使っていただけると嬉しいです。



お正月に向けて買い出しへ

ケアハウス 光の森の家

12月19日「メガセンタートライアル郡山八山田店」へ買い物に行ってきました。売場面積が約2000坪と東北エリアの店舗では最大級のお店です。皆さん買物リストをメモ用紙いっぱいに書き、いざ出発!!店員さんに聞きながら買いたい物へまっしぐら。足腰の痛みを忘れるくらい買物に夢中になり、いつもより動作がスムーズに見えました。昆布や黒豆、するめイカを購入され買物袋やリュックをパンパンにしてバスに戻ってこられ「これで、良い正月が迎えられる」と皆さん笑顔で大満足なご様子でした。



収穫祭 第二弾

デイサービスセンター 光の森の丘

デイサービスセンターの畠で秋に収穫したサツマイモでスイートポテトを作りました。収穫してから熟成させた方が、サツマイモの甘みが増すと言われていますが、それは本当か、実食!!



蒸してやわらかくなったサツマイモを茶巾絞りにして、ホットプレートで焼き上げ、ゴマをのせたら、出来上がりです。甘みが増したサツマイモは紅茶やコーヒーとあいまって、たまらない味のスイートポテトでした。利用者の皆さんからも大好評でした。やはりサツマイモは、収穫し寝かせた方が甘みが増す!! 本当でした。